

第47回鹿児島県中学校バレーボール大会 開催に向けてのガイドライン

1 大会期間

令和3年5月22日（土）～24日（月）

2 試合会場およびコート

- (1) 原則、1会場につき1コートまでの設営とする。ただし、体育館の規模によってはその限りではない。
- (2) 日差しの影響がない場合は、原則カーテンを開けて試合を行い、換気を十分に行うこと。
また、試合中の換気ができない場合は、セット間や試合間を利用して必ずカーテンを開けて換気すること。
- (3) 会場校は、更衣スペースにゆとりをもたせる工夫をし、更衣室も換気ができるようにすること。
(一度の入室制限、チームの入れ替え等)
また、更衣室の消毒は使用したチームが責任を持って行えるようにアルコール等の準備をしておくこと。
- (4) 冷水機の貸し出しは、体調不良を除き原則禁止とし、飲用水は各チームで準備すること。
- (5) 会場校に使用や立ち入りを許可された場所以外の使用は一切禁止とする。

3 大会の参加について

- (1) 大会参加チームは、このガイドラインに則して大会に参加し、感染症対策事項や熱中症予防、各会場校のルールを遵守し、率先して協力すること。また、これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場等を求めることがある。大会直近2週間以内に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域などへの往来があられた方は会場への御来場をお断りいたします。
- (2) 各チームにおいて、大会参加についての保護者の同意を得ること。同意書（様式1）は顧問が保管すること。
- (3) 大会当日（初日）に、参加チームの監督は、健康チェックシート（様式2）を大会本部に提出し、チームの健康状態を報告すること。報告対象者は、チームスタッフ、選手、応援者など、入館者全員分とする。
また、2日目以降も各会場大会本部に提出すること。
- (4) 入館は、チームスタッフ（フロアへ入場する監督・コーチ）及び選手とチームスタッフ（フロアへ入場しない顧問等）及び応援者の入退場口を区別し、試合ごとにチームの入替を行う。その際、それぞれ体調確認書（様式3）に当日の健康状態を記入し、係員によってIDカードと照合した上で入館を認める。
- (5) チームにコロナウイルス感染者・濃厚接触者が判明した場合の対応については、以下の状況で判断する。

選手・チームスタッフ個人への対応

＜大会前＞

① 大会前2週間以内に感染が判明した場合

「その後のPCR検査において、陰性が確実に確認され」かつ「保健所の指示により参加を認められる」ことが確認できなければ

ア その期間における当該部員及び当該チームスタッフの出場は認めない。

「その後のPCR検査において、陰性が確実に確認され」かつ「保健所の指示により参加を認められる」ことが確認できれば

イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

② 大会前に濃厚接触者と認定された場合

「PCR検査において、陰性が確実に確認され」かつ「保健所の指示により参加を認められる」ことが確認できなければ

ア その期間における当該部員及び当該チームスタッフの出場は認めない。

「PCR検査において、陰性が確実に確認され」かつ「保健所の指示により参加を認められる」ことが確認できれば

イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

＜大会当日＞

③ 大会当日に発熱等の体調不良がみられる場合

ア その日の大会参加は認めない。試合の観戦や応援も認めない。

イ チームは保護者に連絡を取り、帰宅させること。また、必要に応じて管理職にも報告すること。

＜大会期間中＞

④ 大会期間中に感染や濃厚接触が確認された場合

上記①、②を適用する。

※ 該当チームは県中体連専門委員長に確実に連絡すること。専門委員長は保健所に報告して指示を仰ぎ、会場校や対戦相手にも連絡する。その後、チーム責任者や学校管理職と協議した上で、対応の決定を行う。

＜大会後＞

⑤ 大会後に感染が判明した場合

ア 症状発生の前後2日間が最も感染させやすい時期という報告から、大会後においても感染が判明した場合は、該当チームは県中体連専門委員長（伊敷台中学校 今藤隆浩 TEL099 - 228 - 8114）に確実に連絡すること。

イ 県中体連専門委員長は、保健所に報告し指示をあおぐ。また、会場校や対戦相手にも情報を共有し、チーム責任者は、学校管理職に相談し、その後の対応を協議すること。

チームへの対応

＜上記の「個人への対応」の全対応項目と合わせた「チームへの対応」＞

※ 上記 ①、②を適用する。

＜学校が臨時休校や学級閉鎖等の措置をとっている場合＞

⑥ 臨時休校が大会期間中にかかる場合は、原則として参加不可とする。

学校の一部が休校の場合（学級閉鎖・学年閉鎖等）は、大会への参加は保健所および校長の判断に従うこと。（特に、感染拡大防止の観点で判断すること。）

※ チームへの対応は、学校によって判断が異なることが懸念されるが、事前にチームにその対応方法について周知しておくこと。

＜インフルエンザやその他学校保健安全法等に定められた感染症について＞

⑦ 施行規則に則った出席停止期間を適用し、エントリー選手の変更は従来通りとし特例措置は行わない。

4 試合運営について

- (1) 試合会場の設定 （※原則1会場につき、1コートの設営とするが、体育館の規模によっては、2コートまたは3コートの設営もある。）

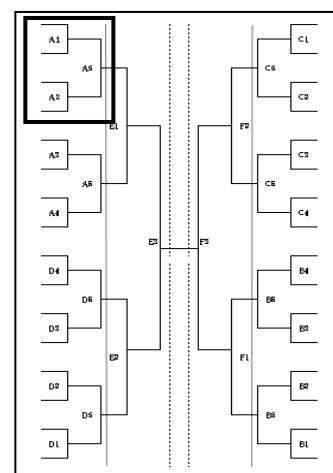
＜県大会＞

- ① 初日の会場は、右表の□囲みの4～8チームで1会場設定を基本とする。
- ② 上記の対応ができない場合は、4分の1ゾーンまたは8分の1で、1会場とする。その際、試合の設定時間およびチームが会場に入る時間等を工夫し、密集を防ぐ手だてを行う。
- ③ 閉会式は行わない。表彰については、コート表彰とする。

- (2) 試合時間の設定

＜全試合共通＞

- ① 各セット間は、換気および給水を十分に行う。
- ② 試合間は最低20分以上とる。アップの時間を含めて最大30分まで設定できることとする。（前試合終了のゲームセットのハンドシグナルが出された20分後に次の試合のプロトコールを開始する。）
- ③ 第1試合のコートオフィシャルは、第2試合のチームで行う。（プロトコール10分前に入場し、集合を完了する。）その後は敗者チームが行う。記録員は、筆記用具を持参すること。
- コートオフィシャルの来場は、必要最小限の人数であれば会場入り時間前の入場を許可する。



- ④ コートオフィシャルの人数は、ラインジャッジ4人、点示員2人、記録員2人、ボールリトリーバー2人の計10人とする。(試合を4ボールシステムで行うために、ボールリトリーバーを配置する。)
- ⑤ チームは試合球を2個準備しておくこと。

< 1コート8チームでの試合運営 >

- ① 試合設定時間(試合開始時刻)、チームの入館時間を設ける。

《大会1日目》

- ・第1試合 9:00 (入館 8:00)
- ・第2試合 10:10 (入館 9:10)
- ・第3試合 11:20 (入館 10:20)
- ・第4試合 12:30 (入館 11:30)
- ・第5試合 13:40 (入館 12:40)
- ・第6試合 14:50 (入館 13:50)
- ・第7試合 16:00 (入館 15:00)

《大会2日目・3日目》

- ・第1試合 9:30 (入館 8:30)
- ・第2試合 10:50 (入館 9:50)
- ・第3試合 12:10 (入館 11:10)
- ・第4試合 13:30 (入館 12:30)
- ・第5試合 14:50 (入館 13:50)
- ・第6試合 16:10 (入館 15:10)

- ② 開館後、第1試合目のチームのみフロアへの入場を許可する。(時刻は、館内放送で連絡する。)
- ③ 次試合のチームは、前試合開始後、体育館の空きスペースでアップ等するために入場してもよい。(ただし、ボールの使用は不可)
- ④ 設定時間前に試合の開始はしない。試合進行の追い込みが必要な場合は、最低20分の試合間をとり、換気やけが予防のためのアップができる時間をとる。

5 応援・観戦について

- (1) 応援・観戦は、保護者(選手の両親・祖父母・兄弟姉妹)のみとし、卒業生等の応援・観戦は不可とする。なお、保護者等の入場は試合開始10分前とし、入館の際は保護者代表による受付を行い、体調確認書とIDカードを確認した上で入館を認める。
- (2) フロアに入場しないチームスタッフ(当該チームの教職員に限る)については、体調確認書とIDカードを確認した上で入館を認める。なお、入館の際は、保護者と一緒に入館手続きをするものとする。
- (3) 応援方法は拍手のみとし、ペットボトル、鳴り物、声援等は禁止とする。(アップゾーンでも同様とする。)
- (4) 観戦者の人数制限については、1チームにつき最大10名とする。
(保護者等についてもIDカードを使用する。大会本部で作成用データを提供し、チームで作成する。)

※ 大会ガイドラインの詳細及び観客の動員は、県内の新型コロナウイルス感染状況に合わせて変わることがあるので、事前に県協会HPやMRSでのメール一斉送信の確認を必ず行ってください。

6 全体注意事項

- (1) 試合中以外はマスクの着用を確実にすること。フェイスシールド、マスクガードのみは原則不可とする。ただし、やむを得ない場合は事前に大会本部に申し出ること。
- (2) アップゾーンの選手はマスクを着用すること。ただし、適切な距離が確保できる場合はその限りではない。
- (3) チームスタッフ・選手は、試合中にベンチで適切な距離を確保し、マスクを着用することが望ましい。ベンチに配置する椅子は、間隔を空けて5脚置くこととする。
- (4) コートオフィシャルも必ずマスクを着用する。(筆記用具は、各自持参すること。)
- (5) 体育館の空きコートでのストレッチや、更衣室を使用する際には、人との接触が大いに想定されるため、マスクを着用する。(勝ち残りチームの待機時もマスクを着用すること。)
- (6) 試合前にハドル(円陣)を組む際に肩を組むことやチーム全員で合唱すること、ハイタッチをすること等は、控えるように指導する。(試合中に自然発生的にハイタッチをする場合を除く。)

- (7) 体育館の空きコートの使用については、ボールを使用しないウォーミングアップのみとする。ベンチ入り以外の選手も使用できるが、プロトコール開始時には、観客席に移動すること。
- (8) 試合のビデオ撮影は許可する。選手等最小限度で撮影すること。(試合をしているチームのみ認める。)
- (9) チームは消毒液(アルコール等)を準備し、フロア入場の際や試合中のベンチ、更衣室等の使用場所を消毒すること。
- (10) 大会直前に選手が体調不良等によってチームが棄権せざるを得ない場合を除いて、保護者の参加同意が得られない等の理由でチームが棄権を申し出る場合、大会5日前までに大会本部、対戦チームへ連絡すること。
(大会本部は、試合順の繰り上げ等を検討し、変更する際は、該当チームのパート全チームに連絡をする。)
- ※ 棄権チームの大会結果への掲載は、「棄権」とだけ記載し、点数は記録しない。
- (11) 試合に敗退したチームが次試合の生徒役員をする際に、部員数が少なく、生徒役員が不足する場合は、試合のない他のチームに生徒役員をお願いすることがある。感染症対策の観点から、保護者等による生徒役員は認めない。
- (12) 指導者は、バレーボール指導中における体罰・暴言の根絶及び大会中のマナー・モラルの向上に努める。

< 大会ガイドラインに関する問合せ先 >

鹿児島県中体連バレーボール専門委員長 今藤 隆浩
Tel099 - 228 - 8114 (伊敷台中学校)